

## 第75回福島大学経営協議会議事要録

1. 日 時 平成28年6月7日（火）13時30分～16時10分
2. 場 所 福島大学事務局棟 第2会議室
3. 出席者  
【学外委員】阿部正、斎藤美幸、清水潔、田原博人、富田孝志、早川信夫、林由美子、  
深澤秀樹  
【学内委員】中井勝己、中田スウラ、三浦浩喜、小沢喜仁、若井祐次、  
千葉養伍、久我和巳、阿部高樹、二見亮弘

〔オブザーバー〕 副学長：真田哲也、千葉悦子  
監 事：上井喜彦、橋本潤子

4. 欠席者  
【学外委員】伊藤泰夫、八島洋一、渡邊博美

### 5. 議 事

#### 【審議事項】

- (1) 平成28年6月期末特別手当に係る役員の業績評価について
- (2) 平成27年度決算について
- (3) 第2期中期目標期間における教育研究評価について

#### 【報告事項】

- (1) 平成28年度学長裁量経費（機能強化対応経費）等の配分について
- (2) 平成27年度期末監事監査結果について
- (3) 平成27年度経営協議会学外委員の意見への対応について
- (4) 学長選考会議の経緯について
- (5) 平成27年度卒業生・修了生の就職状況等について
- (6) その他

議事に先立ち、中井学長から挨拶があった。

#### 【確認事項】

第74回経営協議会議事要録を一部修正の上、確認した。

#### 【審議事項】

- (1) 平成28年6月期末特別手当に係る役員の業績評価について

中井学長から、資料1に基づき、平成28年6月期の期末特別手当に係る役員の業績評価について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(2) 平成27年度決算について

若井理事から、資料2に基づき、平成27年度決算について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(以下、◇はその議題に関する学外委員からの質問・意見、◆は大学側の回答等を表す。)

◇決算資料に載っていない基金や寄付の運用についても、数年に一回のペースで示した方がいいと思う。

◆公表できないものではないので、まとめて報告できるように考えていきたい。

(3) 第2期中期目標期間における教育研究評価及び業務の実績に関する報告書について

中田理事から、資料3に基づき、第2期中期目標期間における教育研究評価及び業務の実績に関する報告書について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

また、中井学長から、今後学外委員から意見照会及び学内構成員からのパブリックコメント募集を行い、経営協議会においては最終案を書面にて審議し、文科省に提出することについて説明があった。

◇評価や業務実績報告書を提出後、どのように各大学内で活用していくかが重要である。

◇大学の外部の目は重要であるが、提出して終わりではなく、大学の戦略を目に見える形で示していくことが今後より必要になってくるだろう。経営協議会などの場を生かし、各大学で議論しまとめていくことも重要だろう。

◆学外委員に大学のことをより知ってもらうためにも、通例となっている審議・報告事項以外の様々な意見を聞く場や、学長の考え、達成状況を報告する時間を作っていきたい。

◇評価に盛り込んである、震災後に取り組んだ OECD 東北スクールやボランテ

ィア活動について総括的な議論をしていかないと、震災以降の取り組みについて中途半端になってしまうのではないか。

◆今年度から WG を立ち上げ、震災後の取り組みを生かしたアクティブラーニングなどを大学教育の中に組み入れる検討を開始している。今後まとまった案として提案する場を作り、震災後の取り組みを一過性のもので終わらせないためにも、大学教育に取り入れていきたい。

◆OECD 東北スクールは OECD イノベーションスクールとして全国を対象とした新しい教育のあり方を検討するという目的で発展している。震災後の取り組みで得た知見を知識として伝達するだけでなく、汎用的な能力として落とし込んで大学教育に生かしていきたい。

#### 【報告事項】

(1) 平成 28 年度学長裁量経費（機能強化対応経費）等の配分について

若井理事から、資料 4 に基づき、平成 28 年度学長裁量経費（機能強化対応経費）等の配分について報告があった。

(2) 平成 27 年度期末監事監査結果について

上井監事、橋本監事から、資料 5 に基づき、平成 27 年度期末監事監査の結果について報告があった。

◇大学の実情や課題がよく分かる資料であると思うので、指摘事項についてどのように取り組むのか前向きに考えてほしい。

◇課題を可視化して取り組んでいくべきだろう。また、予算執行の管理体制について課題があれば聞きたい。

◆収入がある程度決まっているので、執行がより重要になってくる。執行の途中経過を時系列で示す資料があれば執行もよりわかりやすく見えるのではないかと思う。

◇執行が分かりやすく見えるだけでなく、そこからどのように戦略を立てていくのか、そのフォローを絶えず行っていくことが重要である。状況を把握した上で活用してほしい。

(3) 平成27年度経営協議会学外委員の意見への対応について

中井学長から、資料6に基づき、平成27年度経営協議会学外委員からの意見への対応について報告があった。

◇出た意見に対する資料や対応状況を合わせて一覧で示した方がいいのではないか。意見に対する学内の対応、学内議論の報告など学内で共有できる資料を作った方がいいだろう。

(4) 学長選考会議の経緯について

中井学長から、第74回経営協議会(4月26日開催)後に開催した学長選考会議において、教育研究評議会からの委員選出に疑義が出たため、会議が成立しなかったことについて、資料7に基づき報告があった。

(5) 平成27年度卒業生・修了生の就職状況等について

真田副学長から、資料8に基づき、平成27年度卒業生・修了生の就職状況等について報告があった。

(6) その他

特になし